

消化器がんの早期発見・治療の大切さなどを
解説する前田副院長



製鉄記念室蘭病院

消化器がんは 早期発見大切

「診療センター」
開設記念講演会

製鉄記念室蘭病院（松木
高雪病院長）のがん診療セ
ンター開設を記念した講演
会が30日、室蘭市知利別町

の同センターで開かれ、市
民らは消化器がんの早期発
見と早期治療の大切さなど
を学んでいた。

「市民公開がんセミナー」
の一つで前田征洋副院長
（消化器内科・血液腫瘍内
科）が「消化器がんから、
身を守るろう！」をテーマに
解説。市民ら約180人が
耳を傾けた。

前田副院長は「がんに罹
患するのは2人に一人」「が
んで死亡するのは5人に一
人」の現状を解説。「胃が
んはピロリ菌感染の有無を
知り、ある場合は除菌する。
除菌後も定期的な内視鏡検

査を。大腸がんは内視鏡検
査で必要に応じてポリプ
の切除を」と内視鏡検査の
重要性を解説した。

さらに、肝臓がんは「C
型やB型の肝炎ウイルス感
染の有無を知る」、膵臓が
んは「膵がん家系や慢性膵
炎などの危険因子の有無を
知る」と定期的な検査や受
診の必要性を説明、出席者
も真剣に耳を傾けていた。

（松岡秀宜）